

第10回 伊那市入札等検討委員会 会議概要

開催日時及び場所		平成24年2月10日(火) 午後1時30分より3時00分まで 市役所 庁議室	
出席委員		委員長	佐々木 隆 (大学教授)
		副委員長	平島 史彦 (弁護士)
		委員	飯島 匡和 (税理士)
		委員	酒井 庄平 (公認会計士)
審査対象期間		平成23年10月1日～平成23年12月28日	
抽出案件	工事	一般競争入札	4件 (備考)
		指名競争入札	0件
		随意契約	1件
	委託業務	一般競争入札	1件
		指名競争入札	0件
		随意契約	0件
	合計		6件
意見・質問		回答	
会議の概要	<p>○ 議事</p> <p>(1) 審議</p> <p>ア 建設工事等に係る入札及び契約状況の報告 事務局より、審査対象期間内の入札及び契約状況について報告した。 (資料参照)</p> <p>イ 抽出事案の審議 6件の抽出事案について、事務局より説明し、委員により審議された。 (資料参照)</p> <p>ウ その他</p> <ul style="list-style-type: none"> 平成23年度総合評価一般競争入札の状況について 事務局より、平成23年度総合評価一般競争入札の状況について報告した。 最低制限価格算定方法改定後の入札状況について 事務局より、最低制限価格算定方法改定後の入札状況について報告した。 <p>議事の終了にあたり、議長が委員に対し、市長に対する意見具申の有無について意見を求め、無いことを確認した。</p>		
	○ その他 無し		

	意見・質問	回答
委員からの意見・質問、それに対する回答等	議事 (1)審議 ア 建設工事等に係る入札及び契約状況の報告	
	質問意見等なし	
	議事 (1)審議 イ 抽出事案の審議 1 「平成23年度 下水道関連 公共第23-2-1工区 配水管布設替工事」	
	<ul style="list-style-type: none"> ○ 入札金額の最高額と最低額で70万円程度の差しかないが、このような工事は、ある程度正確な金額を業者が積算できるものなのか。 ○ 水道工事の積算は、県の建設物価や積算資料、市独自単価などを用いているが、開示請求等により公表を行なっている。ほぼ正確な金額を積算することは可能であると思われる。 ○ 応札者のうち、A、B級の業者数は。 ○ A級が8者、B級が3者。 ○ 水道工事は、全般的に落札率が高いが、地域要件を市外へ拡大する考えはないか。落札率が下がるのではないか。 ○ 布設替工事は、落札率が比較的高い傾向にある。資材費が主を占めるなどの特殊性があるかもしれない。地域要件を市外へ拡大することは、地元企業の育成や緊急事態対応などから現実的ではないと考える。 	
	議事 (1)審議 イ 抽出事案の審議 2 「平成23年度 伊那市公共関連特環公共下水道工事 美篤第23-2工区」	
	<ul style="list-style-type: none"> ○ 本入札に参加した本店扱い業者は何者か。 ○ 2者である。土木一式工事の本店扱い業者は、この2者である。 ○ 下水道工事の今後の見通しはどうか。 ○ 計画では、平成34年度を目標に整備を進めている。今後10年程は工事がある予定。 ○ この案件は、旧最低制限価格の算定方法によるものだが、この案件に限らず最低制限価格が90%となるケースが多い。また、90%未満の金額で入札する業者が少ない。これらはなぜか。 ○ 旧最低制限価格は、85%~90%の変動制であるが、傾向として90%となるケースが多い。このため90%を切る金額で入札しても失格となる場合が多いので、90%を超える入札が多いのではないかとと思われる。その結果が最低制限価格90%となっているのではないかと考える。 	
	議事 (1)審議 イ 抽出事案の審議 3 「平成22年度 春富中学校 消防・防火設備改修工事」	
	<ul style="list-style-type: none"> ○ 最低制限価格の算定方法改定後の入札となるが、最低制限価格調書の開示請求はできるか。 ○ 開示請求があれば開示する。設計書も開示している。 ○ 開示請求はかなりあるのか。 ○ ほぼ毎週、設計書の開示請求がある状況である。 ○ 最低制限価格が89.4%となっているが、改定前の算定方法で計算するとどのくらいか。 ○ 入札書比較価格以下の応札者が5者に満たないので、改定前の算定方法では85%となる。 	
	議事 (1)審議 イ 抽出事案の審議 4 「平成22年度 高遠中・高遠小・長谷小学校 太陽光発電設備工事」	

<ul style="list-style-type: none"> ○ 3つの学校の工事を一括して入札したということではいか。 ○ 太陽光の設置工事が多いのは、震災の影響によるものか。 ○ 最低制限価格の算定方法改定後の案件であるが、最低制限価格が90%となるのは、他工事に比べて高いように思う。コンサル同様に工事も工種によって率を変えるなど細分化をした方が良いのではないか。 ○ 太陽光パネルの製品指定をしたのか。 ○ 海外品でも可能ということか。 ○ メーカーによりパネル代に差があるのではないか。 ○ 製品により金額差があるので、仕様書を細かくしすぎて製品を限定しないほうがよいと思う。安くて良い製品を業者に競わせた方が経費の節減にならないか。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ そのとおり。 ○ 直接震災とは関係がない。CO2削減の関係などから昨年度から計画的に行っているもの。 ○ 改定して間もないので、しばらくはこのまま様子を見たい。細分化が必要であるかどうかは、今後の入札結果の状況を見て検討したい。 ○ 仕様書にて性能指定をしている。製品やメーカーなどの指定は行っていない。 ○ 仕様を満たせば可能である。 ○ 仕様を見れば、製品は何点かに絞られる。業者は、その製品の見積りで積算している。 ○ 仕様書の内容等を含め検討します。
<p>議事 (1)審議 イ 抽出事案の審議 5 「平成23年度 鳩吹クリーンセンター改修工事」</p>	
<p>質疑等なし</p>	
<p>議事 (1)審議 イ 抽出事案の審議 6 「平成22年度 高遠中・高遠小・長谷小学校 太陽光発電設備工事 実施設計・工事監理業務委託」</p>	
<ul style="list-style-type: none"> ○ 全国的に太陽光パネルの設置が行なわれているが、設計会社が入らずに直接工事会社が設置まで行なっていることが多い。今回建築コンサルタントに設計を発注した理由はなぜか。 ○ 最低制限価格による失格者が3者と多い。最低制限価格が原因というよりも、単価などの積算が高すぎるのではないか。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 既存の学校施設の改修や修繕工事などが伴うため、建築コンサルへ設計を委託した。また、大規模工事となるので、工事監理も必要である。 ○ 適正な積算を行なっている。設計内容を確認し、必要があれば見直し等も検討する。最低制限価格の算定方法も変わったので様子を見たい。

議事 (1)審議 ウ その他 「平成23年度総合評価一般競争入札の状況について」	
質疑等なし	
議事 (1)審議 ウ その他 「最低制限価格算定方法改定後の入札状況について」	
質疑等なし	
議事 (1)審議 ウ その他	
○ 不落の案件が多く見られるが、全て予定価格を上回ってのものか。	○ 全ての業者が予定価格を上回って不落となった件数は、約半数。他に全者が最低制限価格を下回った案件や落札候補になったが失格になったものなどもある。
○ 不落が今後も多いのであれば、不落案件の審査も必要かと思うがいかがか。	○ 不落案件を抽出していただき、審査していただくのも良いと思う。
委員会による意見の具申又は勧告の内容	なし